

## 第2 想定災害

### 1 想定する地震

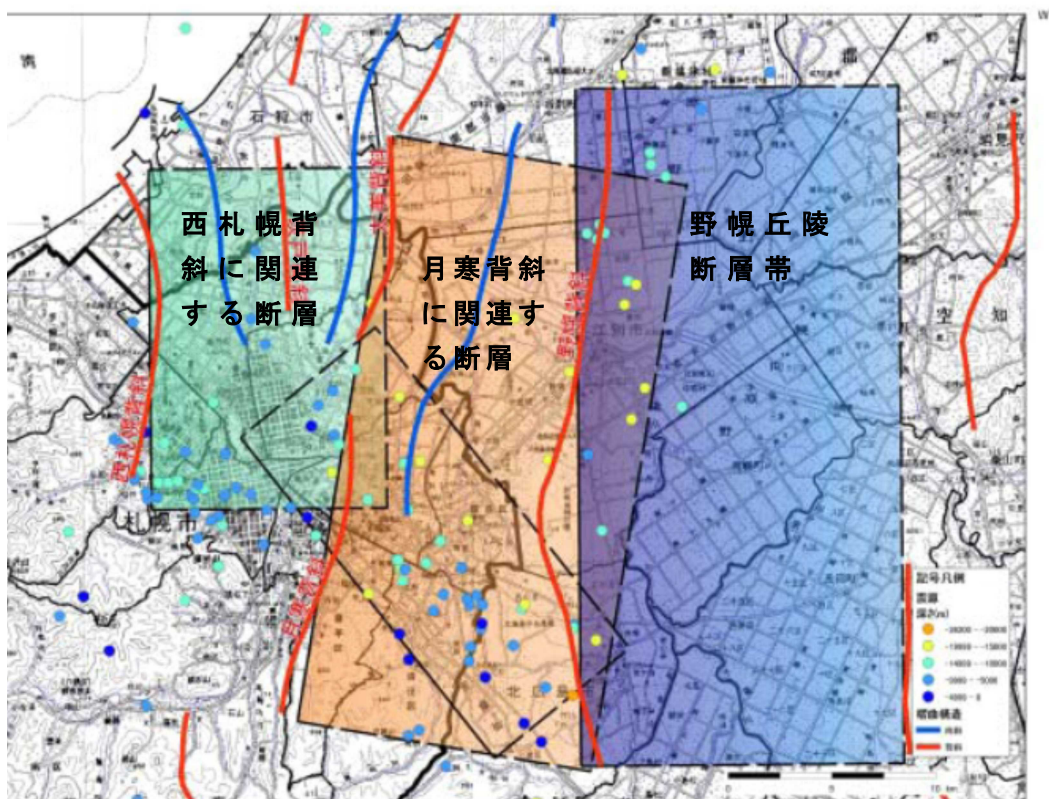
本計画で想定する地震は、北海道防災会議地震専門委員会で、「北海道の想定地震」として決定された次の「3つの伏在活断層（図4）による札幌市直下型地震」とする。

- (1) 野幌丘陵断層帯
- (2) 月寒背斜に関連する断層（月寒断層）
- (3) 西札幌背斜に関連する断層（西札幌断層）

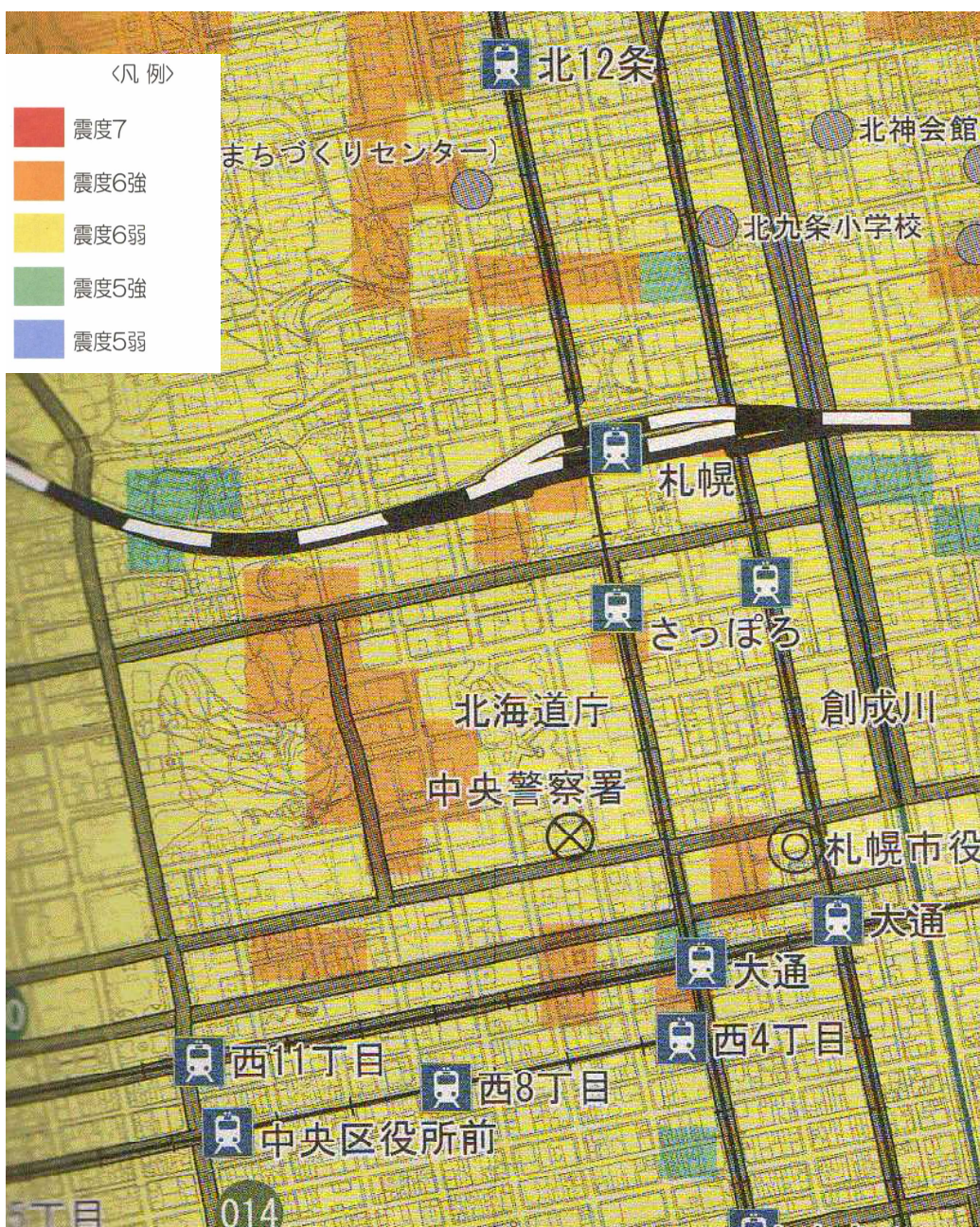
	マグニチュード	最大震度	震度6強以上発生面積 (km <sup>2</sup> ) [札幌市内]
野幌丘陵断層帯	7.5	7	44 (4.0%)
月寒断層	7.3	7	169 (15.1%)
西札幌断層	6.7	7	122 (10.9%)

※以下第2掲載の図及び表は札幌市防災会議の資料から抜粋

(図4)



(図5：本庁舎周辺の震度分布図)



※ 3つの断層による地震の震度を重ね合わせ、最大震度を表した分布図

<主な施設の震度>

施設名	震度
北海道庁本庁舎	6弱 (一部6強)
〃 別館	6強
北海道警察本部	6強
北海道議会	6強
札幌建設管理部	6弱
道民活動センタービル (かでの2・7)	6強

## 2 札幌市直下型地震の被害想定

### (1) 建物被害

	野幌丘陵断層帯		月寒断層 (最大)		西札幌断層	
	夏	冬	夏	冬	夏	冬
全壊棟数	7, 373	8, 026	30, 218	33, 611	18, 377	20, 336
半壊棟数	33, 728	37, 366	71, 073	78, 850	49, 044	54, 300
全出火件数	21	95	70	314	43	198
焼失棟数	71	382	255	1, 405	156	957

### (2) 人的被害

(単位：人)

		野幌丘陵断層帯		月寒断層 (最大)			西札幌断層	
		死者	重傷者	死者	重傷者	軽傷者	死者	重傷者
夏	5時	365	1, 054	1, 789	3, 123	27, 500	1, 046	1, 910
	12時	253	754	1, 318	2, 378	20, 919	772	1, 479
	18時	254	757	1, 325	2, 391	21, 006	777	1, 488
冬	5時	1, 707	958	8, 234	2, 411	28, 003	4, 690	1, 535
	12時	1, 282	680	6, 574	1, 805	21, 204	3, 766	1, 185
	18時	1, 293	694	6, 619	1, 850	21, 380	3, 793	1, 213

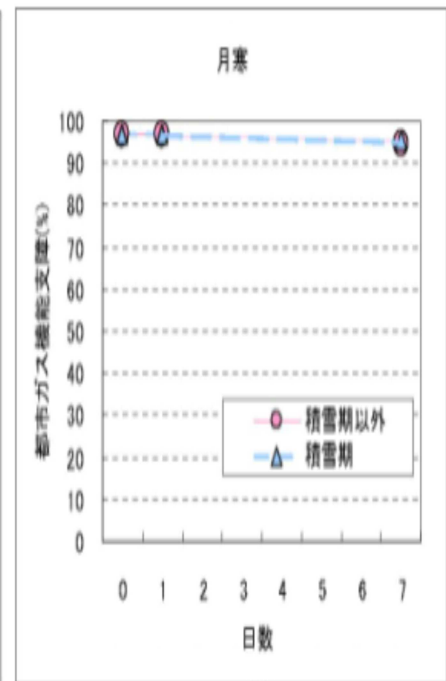
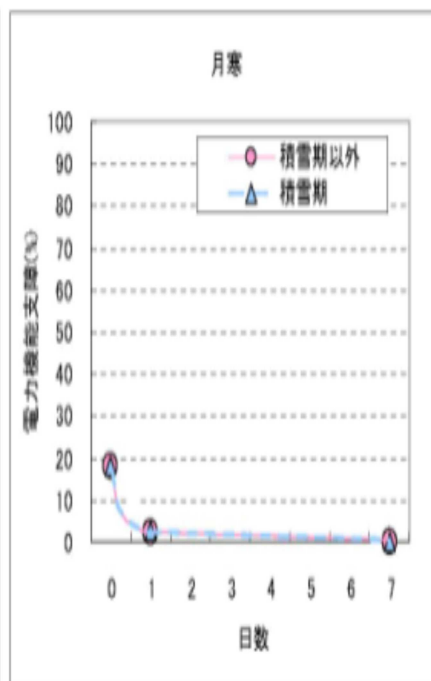
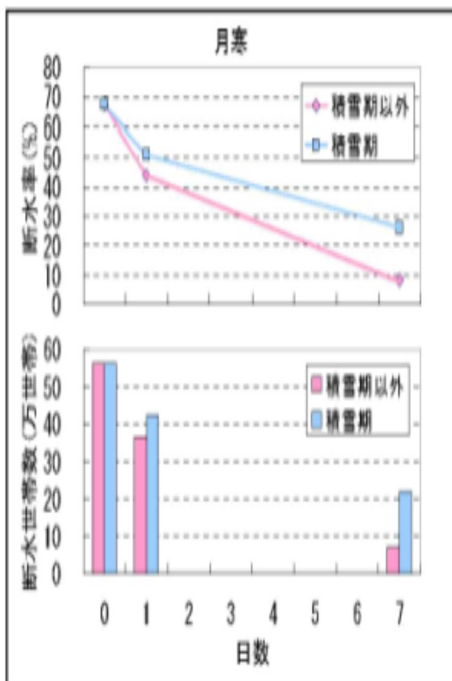
※ 冬：発災後2時間以内に救出されない場合に凍死すると仮定したもの

### (3) ライフライン被害 (月寒断層による地震の場合)

上水道

電力

都市ガス



### 3 想定する洪水

本計画で想定する洪水は、札幌市の洪水ハザードマップにより、本庁舎及び別館庁舎周辺は0.5m未満の浸水深とする。

(図6:本庁舎周辺の洪水ハザードマップ)



### 4 想定する大規模停電

本計画で想定する大規模停電の期間は「大規模災害発生時における地方公共団体の業務継続の手引き」(平成28年2月 内閣府(防災担当))に基づき、1週間程度とする。

※「大規模災害発生時における地方公共団体の業務継続の手引き」58ページ

『・・・停電の長期化に備え、1週間程度は災害対応に支障がないよう準備することが望ましい。』